

# 大分瓦斯株式会社環境行動指針

平成29年7月

## 環境基本理念

大分ガスは、地域及び地球規模の環境保全の重要性を深く認識し、事業活動を通じて、エネルギーと資源の効率的利用を追求するとともに、持続可能な社会の発展に貢献します。

大分ガスは、環境の継続的改善を推進するため、環境基本理念に則り、環境方針を下記のように定めます。

## 環境方針

1. お客様のエネルギー利用における環境負荷の低減
  - (1) クリーンエネルギーである天然ガスを普及促進します。
  - (2) 高効率給湯器、コージェネ、ガス空調などの省エネルギー・低環境負荷のガス機器、システムの普及推進により地球温暖化防止に貢献します。
2. 事業活動に伴う環境負荷の低減
  - (1) 事業活動における省エネルギー、省CO<sub>2</sub>を推進します。
  - (2) 事業活動に伴い生じる廃棄物等の抑制と再資源化を推進することで循環型社会の形成に貢献します。
3. 環境コミュニケーション活動の推進
  - (1) 地域の環境保全活動・環境イベントに積極的に参加・参画します。
4. 環境マネジメントの充実、環境マインド向上
  - (1) 環境管理の担当役員や組織・推進体制を定めます。
  - (2) 従業員に活動内容を周知し環境マインドの向上に努めます。
  - (3) 環境に関する法的要求事項等を遵守します。
5. この環境方針は、公開します。

# 行 動 計 画

## 1. お客様のエネルギー利用における環境負荷の低減

### (1) クリーンエネルギーである天然ガスの普及促進

平成28年度実績	50,421千m <sup>3</sup>
平成29年度計画	50,132千m <sup>3</sup>
平成30年度計画	50,201千m <sup>3</sup>
平成31年度計画	50,327千m <sup>3</sup>

### (2) 高効率給湯器、コージェネ、ガス空調などの省エネルギー・低環境負荷のガス機器、システムの普及推進によりCO<sub>2</sub>排出量の低減に貢献

#### ① お客様先でのエネルギー利用効率の向上

##### ○高効率給湯器の普及拡大

平成28年度末実績	5,253台
平成29年度末計画	6,490台
平成30年度末計画	7,727台
平成31年度末計画	8,964台

##### ○コージェネレーションの普及拡大

平成28年度末実績	335か所	764kw
平成29年度末計画	426か所	842kw
平成30年度末計画	515か所	934kw
平成31年度末計画	824か所	1,030kw

##### ○ガス空調機器の普及拡大

平成28年度末実績	192か所	53,565RT
平成29年度末計画	200か所	53,914RT
平成30年度末計画	212か所	54,263RT
平成31年度末計画	224か所	54,613RT

## 2. 事業活動に伴う環境負荷の低減および廃棄物等の抑制と再資源化を推進

### (1) 製造部門（都市ガス製造量千 $\text{m}^3$ に対する $\text{CO}_2$ 排出量およびガス使用量）

#### ○都市ガス製造所での $\text{CO}_2$ 排出量

平成28年度実績	1. 64 kg- $\text{CO}_2$ /千 $\text{m}^3$
平成29年度計画	25%増加（対前年度比）
平成30年度計画	7%削減（対前年度比）
平成31年度計画	14%削減（対前年度比）

#### ○都市ガス製造所でのガス使用量

平成28年度実績	0. 09 $\text{m}^3$ /千 $\text{m}^3$
平成29年度計画	156%増加（対前年度比）
平成30年度計画	26%削減（対前年度比）
平成31年度計画	47%削減（対前年度比）

#### ○環境負荷の低減のための実施項目

- ・適切な設備運用を行うことにより、製造過程で環境負荷の低減を図る。

### (2) 一般管理部門

#### ○電力使用量

平成28年度実績	136. 2 kWh/ $\text{m}^3$
平成29年度計画	0. 1%削減（対前年度比）
平成30年度計画	0. 1%削減（対前年度比）
平成31年度計画	0. 1%削減（対前年度比）

#### ○ガソリン使用量

平成28年度 実績	490. 8 L/台
平成29年度 計画	0. 5%削減（対前年度比）
平成30年度 計画	0. 5%削減（対前年度比）
平成31年度 計画	0. 5%削減（対前年度比）

#### ○環境負荷の低減および廃棄物等の抑制と再資源化推進のための実施項目

- ・冷暖房の温度設定を暖房 $20^\circ\text{C}$ 以下、冷房 $28^\circ\text{C}$ 以上とする。
- ・昼休み、残業時等の不必要な時は消灯する。
- ・トイレや使用頻度の低い倉庫等照明は普段消灯し、使用時のみ点灯する。
- ・ブラインドやカーテンの利用等により熱の出入りを調整する。
- ・エコドライブ運転の励行。
- ・文書や資料の作成を簡素化するとともに、両面印刷を活用し枚数を減らす。
- ・コピーは必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないようにする。
- ・コピー使用前は設定を確認するとともに、使用後は必ず設定をリセットする。

### 3. 環境コミュニケーション活動の推進

(1) 地域の環境保全活動・環境イベントへの積極的な参加・参画。

- 事業所周辺の清掃の実施。
- 地域環境イベントへの積極的参加。
- 環境レポートの公開。

### 4. 環境マネジメントの充実、環境マインド向上

(1) 環境管理の推進体制

